

「年輪クラブ」月例会

～アカエゾマツの枝打作業を行いました～

9月19日(木曜日)、御園東森林事務所144・145林班の高見ダム採石跡造林地において、新ひだか町の森林ボランティアサークル「年輪クラブ」の月例会が行われ、当署から署長外2名が同行しました。当日は、67歳から88歳までの8名の年輪クラブ会員の方が参加し、心地よい晴天の中、アカエゾマツの枝打作業を行い、当署職員と一緒に汗を流しました。

年輪クラブでは本年5月にも枝打作業を行いました。その後枝打した箇所から大量の松ヤニが出てきたため、対策を検討し、枝打作業の高さをこれまでより低く押さえて調整してみました。今回の枝打作業直後は大量の松ヤニは確認されませんでしたので、次回10月の月例会の際に再度確認し効果を検証することとしています。

また、開始前は下枝がうっそうとしており、歩くことも大変だった林内は、枝打の効果できれいになり、歩きやすくなりました。参加者からは「枝打をして、見通しがよくなった」「良質の材がとれるようになってほしい」などの声が聞かれました。

日高南部署では、今後も地域のボランティアサークルへのフィールド提供・技術支援等を通じて、国民参加の森づくりに取り組んでいきたいと考えております。



【署長の挨拶】



【いい木材に】



【枝打前は先が見通せませんが、枝打後は見通しがよくなりました】